



公民館報

くしもと

No. 98

(2021 / 7 / 1)

編集・発行：教 育 課

串本町串本2427番地

TEL 0735-62-0006 / FAX 0735-62-6023



表紙文化財紹介

地主神社のクスノキ

町指定文化財 天然記念物

昭和49年3月1日指定

今月号の表紙は「地主神社（神野川）のクスノキ」です。

地主神社にはクスノキが2本あり、社殿に向かって左の木をA樹、右の木をB樹としています。

●A樹 幹周約8.3m 樹齢推定700年

●B樹 幹周約7.0m 樹齢推定500年

写真はA樹で、地上1.5mほどで二幹に分岐しており、境内の榎や柞の木と枝がつながって「連理」という珍しい現象がおきています。

7月1日～7月31日は

第71回「社会を明るくする運動」強調月間です

■「社会を明るくする運動」とは？

「社会を明るくする運動」は、犯罪や非行を防止し、立ち直りを支える地域のチカラはすべての国民が、犯罪や非行の防止と罪を犯した人たちの更生について理解を深め、それぞれの立場において力を合わせ、犯罪のない地域社会を築こうとする全国的な運動です。

■地域のチカラが犯罪や非行を防ぐ

テレビや新聞では、毎日のように事件（犯罪）のニュースが報道されています。安全で安心な暮らしはすべての人の望みです。犯罪や非行をなくすためには、どうすればよいのでしょうか。取締りを強化して、罪を犯した人を処罰することも必要なことです。しかし、立ち直ろうと決意した人を社会で受け入れていくことや、犯罪や非行をする人を生み出さない家庭や地域作りをすることもまた、とても大切なことなのです。立ち直りを支える家庭や地域をつくる。そのためには、一部の人たちだけでなく、地域のすべての人たちが、それぞれの立場で関わっていく

必要があります。「社会を明るくする運動」では、犯罪や非行のない地域をつくるために、一人ひとりが考え、参加するきっかけをつくることを目指しています。

■あなたもできることから始めてみませんか
「社会を明るくする運動」では、街頭広告、ポスターの掲出、新聞やテレビ等の広報活動に加えて、誰でも参加できるさまざまな催しを行っています。イベントに参加したり、ホームページを見たことなどをきっかけにして、犯罪や非行のない安全で安心な暮らしをかなえるために、今、何が求められているのか、そして、自分には何ができるのかを、みなさんで考えてみませんか。



■更生保護ボランティア

「更生保護」は、社会の中での立ち直りを導き、助け、再び犯罪や非行に陥るのを防ぐ仕組みです。その活動には、保護司や協力雇用主をはじめ、たくさんの人たちが関わっています。信じてくれる人がいること、必要とされる場所があること。それは、更生への大きな支えとなります。更生保護は、社会に暮らす人たちが



広く関わることで達成される取組なのです。

■串本町内の取り組み

串本町推進委員会では、重点目標に従い強調月間である7月を中心に年間を通じて、地域社会に貢献することを目的とし、次のような取り組みを行います。

- ① 地域社会における犯罪や非行の防止
- ② 更生保護活動への協力
- ③ 青少年教育の振興と協力
- ④ その他、目的達成のための活動

彼の生きづらさって、
私が頑張っただけで分かんない。
全部は分らない。

でも、決めたの。
生きづらさを抱えて生きていく彼を受け止めてあげようって。
彼の生きづらさにも、彼の立ち直りにも、
終わりはないのかもしれないけれど、
私なりに寄り添うことならできると。

私もね、いろんな人に支えられて、
やってきたんです。

そう。生かされて生きてきたんですから。

#生きづらさを
生きていく。

主催 / 法務省

犯罪や非行を防止し、立ち直りを支える地域のチカラ
第71回 社会を明るくする運動

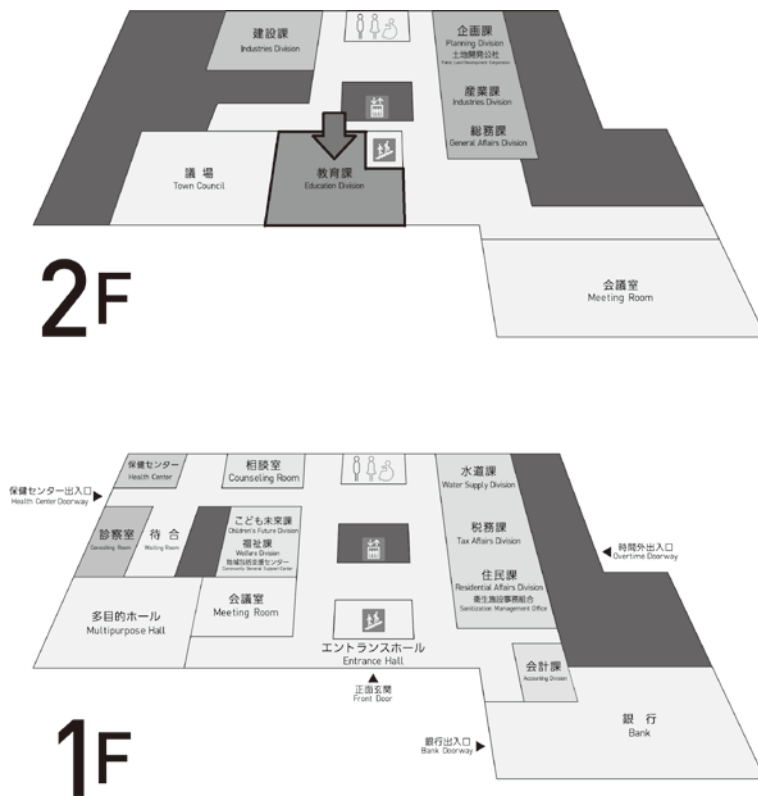
7月は「社会を明るくする運動」強調月間・再犯防止啓発月間です。
社情 しやめい Q 検索

7月は「社会を明るくする運動」強調月間・再犯防止啓発月間です。

庁舎移転後の文化センター窓口業務について

7月26日(月)に役場が新庁舎に移転することに伴い、教育課社会教育グループの事務所が文化センター内から新庁舎へと移転します。庁舎移転後の社会教育グループあての問い合わせや、社会体育・学校体育施設利用の関係は新庁舎2階の教育課までお願いします。

新庁舎案内図



なお、庁舎移転後も文化センターには職員が常駐しておりますので、文化センターの貸館関係についてはこれまでと同様に文化センター職員が対応いたします。

また、新たに証明書の発行を文化センター窓口でも行います。発行する証明書は住民票・戸籍関係証明書・印鑑証明・各種税証明です。平日の役場開庁時のみの取り扱いですが、ぜひご利用ください。なお、異動の手続き等は受け付けできませんので、その場合は新庁舎の各課窓口へお願いします。

文化センター窓口で行う業務

- 文化センター貸館関係
- 住民票・戸籍関係証明書・印鑑証明の発行
- 各種税証明の発行

●文化センター連絡先(変更なし)
TEL 0735(62)0006
FAX 0735(62)6023

新庁舎に移転する業務

- 社会体育施設利用関係
- 学校体育施設利用関係
- 社会教育グループあての問い合わせ(例) 公民館関係
本館講座関係
社会教育・体育行事関係
文化財関係
子ども会・青少年育成関係
スポーツ少年団関係
スポーツ合宿関係等

※文化センターの利用申請は社会教育グループでも受け付けます。

●7月26日以降の

住所 社会教育グループ連絡先
TEL 0735(67)7260
FAX 0735(67)7326

第59回県美協展串本展

5月26日から5月30日の5日間、町立体育館にて、第59回県美協展串本展を開催しました。開催期間中に278人が訪れ、それぞれの作品を興味深く鑑賞していました。

県美協展は、県美術家協会の作家の作品を集めた展覧会で、串本展は、県美術家協会と町教育委員会との共催で隔年で開催しています。

会場には洋画、日本画、書、写真、工芸、彫塑など約200点の作品が展示されました。協会員の多くは、県展をはじめ大きな展覧会で受賞歴があり、県内でトップレベルの作品が並びました。

なお、11月9日から11日まで新宮市文化複合施設丹鶴ホールにて県美協展新宮展が開催されます。



少年メッセージ2021東牟婁地方予選会

6月5日町文化センター大ホールにて、東牟婁地方青少年育成県民運動推進委員連絡協議会、公益社団法人和歌山県青少年育成協会主催の少年メッセージ2021東牟婁地方予選会が開催されました。

少年メッセージは、中学生が日頃考えていることを発表することで、同世代の少年少女が互いに理解し合い、郷土の未来を担う若い世代の育成を図る目的で実施しています。

この日は、郡内16校16名の中学生が発表を行い、その内容や表現力を審査員が審査しました。

審査の結果、串本西中学校の増田歩那さんと串本中学校の藤野遥さんが優秀賞に選ばれました。この2名は7月31日に紀の川市で開催される県大会に東牟婁代表として推薦されます。



藤野 遥さん



増田 歩那さん

優秀賞

「私の夢」

串本西中学校3年 増田 歩那



私の夢は、薬剤師になることです。薬剤師と聞くと薬局等で医薬品を交付する姿を思い浮かべる方が多いと思いますが、私が目指しているのは、新薬の開発・研究を行う薬剤師です。

薬剤師になりたいと考えるようになった動機は二つあります。一つ目は、小学生の時に出会った盲目のピアニスト、辻井伸行さんの存在です。彼は、生まれつき目が見えませんが、「音」という感覚だけを頼りに洗練されてきた演奏は、とても繊細で、心に響きました。私は、彼の演奏がとても好きで、YouTubeで何度も聴くうちに、彼の病気にも感心を持つようになりました。そんな時目にしたのが、テレビで放送されていたがんをはじめとした難病の話題でした。今や日本では二人に一人ががんにかかり、三人に一人

ががんで死亡するといわれています。また、二〇一六年度現在の日本の指定難病患者総数は九八万六〇七一人にまで上っていて、その数は年々増加しているとのことでした。この現状を変えたい、少しでも苦しむ人を減らしたいと思い、医療の仕事に志すようになりました。

薬剤師になりたいと思った動機の一つ目。それは祖父の存在です。私は、昨年母方の祖父をがんによつて亡くしました。祖父はとても元気な人でした。よく食べ、よく笑い、よく喋る祖父は、少し気の短いところもありましたが、人の話を聞いたり相談にのるのがとても好きで、祖父の周りにはいつもたくさんの人が溢れていました。祖父は、私が小さい頃からよく海や山など色々な場所に連れて行ったりもしてくれました。直接自分の口からは中々言えませんが、私はそんなおじいちゃんが好きでした。しかし、がんが発覚し、大きかったはずの祖父の身体はみるみる痩せ細っていききました。もう立つこともできないのに、立つて歩くんだと言ったり、元々祖父は漁師なので身体につながれた点滴などのチューブを漁に使う道具だと思つて引っぱってしまったりました。私が「おじいちゃんが釣ったカツオとかマグロ食べたいなあ。」と言つ

て、祖父が「ちようどええ時期やなあ、また海のええ日に釣つてきたる。」と嬉しそうに微笑んだ時には、思わずその場で泣いてしまいました。その時にはもう自分で身体を起こすことも難しい状態だったからです。また、祖父を苦しめたがんは、様々な検査をしても原発はどこなのか明らかにならず、その間に胃や肺、リンパや脳へと転移していききました。「もつと早くに原発のがんがどこにあるのか分かっていれば、病状に合った薬があれば、祖父は助かっていただのかもしれない。」そう思うと、悔やんでも悔やみきれません。

がんと戦い続けた祖父も辛かったのでしょうが、その姿を見ていた私達家族もとても辛い思いをしました。この経験が私の夢を決定づけました。最近、ニュースでコロナによつて無気力になったり、悲観的になったりする人が増えているとよく耳にします。確かに、私も友達との自由な時間が減ったり、部活の大会が中止になったりと、コロナによつて失ったものは大きいと感じています。しかし、これまでの経験や心に目を向けるときはみえてくるのではないのでしょうか。今もどこかで、苦しんでいる人がたくさんいる。ふとそう考えたとき、

胸が締めつけられるのです。救える命があるかもしれない。そう思うと、何もせずにはいられないのです。

私は今、薬剤師になるために、平日自主学习二時間を自分に課して勉強しています。将来は、進学して薬学を学び、製薬会社に就職して研究をしたいと考えています。

たくさんのお患者を治すことは、同時にその患者の親族や友人など、多くの人の心を救うことにもなります。私はそうして、病気と心を癒やしたい。これが私の夢です。

優秀賞

「本当の自分」

串本中学校3年 藤野 遥

仮面。もしかしてあなたもつけていますか。

人は仮面をつけて生きている。本当の自分を隠して、自分をコントロールして



いるのだ。社会に出た大人達は、上司や偉い人の前で仮面をつけて仕事をしている。そんな様子は、今の日本では当たり前なのかもしれない。

仮面をつけているのは大人だけで

はない。私たち子どもも仮面をつけて過ごしている。そばにいる人にも仲の良い友達に對しても。もちろんみんながみんなそうではなく、素直で自分に正直に生きている人もいるだろう。そして、ずっと仮面をつけている人もいる。私もその一人だ。

私は周りから社交的だと言われる。初めて会った人にも自分から声をかけ、すぐに仲良くなることが多い。虫がいても自分から捕まえ、友だちを驚かせたりもする。時にはふざけたり、周りに合わせある程度のところで適当にやり過ごしたりする。そんな様子を見て、多くの人が私のことを「社交的」だと思っているようである。

しかし、元々の私はそうではない。とても人見知りで、誰かに話しかけられても、目を合わせるのも怖かったほどだ。幼い頃は、大人の男の人が苦手で、挨拶するどころか親の後ろに隠れて固まっていたらしい。虫も得意と言うよりむしろ苦手で、できればさわりたくない。中途半端が嫌で完璧に仕上げたい。自分一人で納得できるまでやり切りたい。このように、本来の姿とは真逆なほどに違っている。いつの頃からか社交的に振る舞うように変わっていった。どうして私はこんな風に仮面をつけているのだろう。これまでも何度

か気になり、考えたことはあったが、答えにたどり着くことはなかった。しかし、最近少しわかった気がする。私が仮面をつける理由。それは、「本当の自分を見せるのがこわい」からだ。

私は元々弱い自分が嫌いだ。弱い私を周りの人も嫌いになるだろう。みんなに嫌われたくない。嫌われるのがこわいから、嫌われないような子になる。みんなに好かれる理想の姿を演じるために私は仮面をつけ、本来の自分を隠している。

しかし、こうやって仮面をつけ続けるのが悪いことだとは私は思わない。知らず知らずのうちに身につけた、自分を守る方法だから。でも、これだけはわかる。ずっとそうやって過ごすのは、とても疲れる。こんなことを人に伝えるのもこわくてしようともしなかった。一人になるとふと思う。「私は自分らしく生きているのだろうか。」と。

ある時、思い切って友だちに打ち明けてみた。その友だちは、私の話を真剣に聞いてくれ、そして笑顔でこう言った。

「仮面をつけているのも、本当の遥やで。」

少し軽くなった気がした。重荷だと思っていたことを、「そんなに気にしなくても、このままでいいんだ。」

と思えた。

今も私は理想の姿で過ごしている。でも、これから何か変わるのかもしれないし、変わるのも悪くないと思えていく。

本当の自分を隠して、仮面をつけて過ごすことに苦しんでいる人に伝えたい。そんな人はこの世界にたくさんいて、決して特別ではない。あなたはひとりじゃない。あなたのことをわかってくれる人が、信頼できる人が、意外と近くにいる。「自分らしさ」なんて曖昧なものは気にしなくていい。すべてが「本当の自分」なのだから。いつか、あなたの心の底からの笑顔が少しでも増えますように。



発表した生徒の皆さん

前列着座が入賞者、左2人目から順に川端咲月さん(太地中)、宮井聡子さん(下里中)、増田歩那さん(串本西中)、藤野遥さん(串本中)、長澤美和さん(色川中)

夏の子供を守る運動

夏休みは、青少年が非行に走ったり、事件・事故に遭ったりすることが多くなることが予想されます。このため、7月及び8月を「夏の子供を守る運動」期間と定め、関係機関はもとより、各種団体や地域社会が一体となって、すべての青少年が「明るく・正しく・たくましく」育つよう、県内全域において集中的な取組を推進します。青少年を非行や犯罪被害から防ぐために大人は何をすべきか考えてみましょう。

第57回

夏の子供を守る運動

～明るく 正しく たくましく～

令和3年

7月1日(木)～8月31日(火)

地域で守ろう!育てよう!
和歌山の青少年



・水の事故に気をつけよう!

・自撮り画像を撮らない!・送らない!

・STOP THE いじめ!

・考えよう!家族みんなでスマホのルール

・万引きは犯罪です!

・見逃さないで!子供のサイン

主催：和歌山県青少年総合対策本部

大島プール

プール清掃実施

大島プールの一般開放開始を前に6月18日にプール清掃を行いました。大島小学校の先生、保護者、大島区の方々とともに、プールに溜まった泥や枯葉などを取り除き、デッキブラシ等できれいに磨きました。大島プールは、今年も7月1日より一般開放を行います。詳細については下記のとおりですので、ぜひご利用ください。

大島プール一般開放について

■使用期間

7月1日(木)～8月31日(火)
10時から16時まで

■使用料

左記表のとおり

■大島小学校プール水泳指導日

次の日は、大島小学校のプール水泳指導のため、貸し切りとさせていただきます。

●7月5日(月)、9日(金)、13日(火)、16日(金)

■その他

新型コロナウイルス感染症の感染状況や、天候の状況により臨時休業することがあります。

■お問い合わせ

教育課社会教育グループ

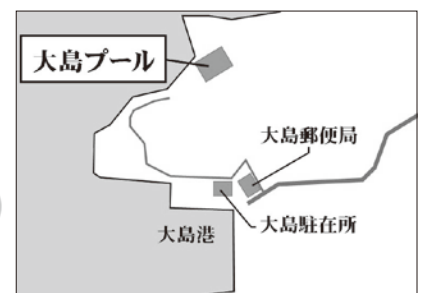
☎6210006

大島プール使用料

区分			料金
町民	中学生以下		無料
	一般	個人使用	1人につき200円
		団体使用(10人以上)	1人につき150円
	高齢者・障がい者等		無料
上記以外	中学生以下		1人につき100円
	一般	個人使用	1人につき300円
		団体使用(10人以上)	1人につき200円
	高齢者・障がい者等		1人につき200円

備考

1. 入場1回の使用料とする
2. 高齢者・障がい者等とは、次の各号のいずれかに該当する者をいう。
(1) 70才以上の者 (2) 身体障害者手帳、療育手帳又は精神障害者保健福祉手帳の保有者 (3) 介護保険法(平成9年法律第123号)の規定により、要介護状態又は要支援状態として認定された者
3. 小学生未満の使用については、付添人があるものに限り許可する。



灯台

「古希」

五月で満七十才になった。世間で言われる「古希」である。(数えと満の違いがあるが)「古希」とは、中国の詩人杜甫の『曲江』という詩の中の『酒債は尋常行く処に有り、人生七十古来稀なり』に由来している。『酒代のツケはどこへ行つてもあるが、古来より七十才まで生きる人はめつたにいない』という意味だが、いかにも放浪の詩人と言われた杜甫らしい一説だと思う。

もし私が杜甫に習つて詩を作るとしたら、ここまで来るのに多くの人の世話になつてゐるから、『酒債』のところを『人債』にした方がいいかなあ(私は酒をまつたく飲めない)などと考えながら「古希」について調べを進めてみた。

一番疑問に思つたことは、「稀」が「希」になつてゐることだ。その答は二つあつた。「稀」は常用漢字ではないので「希」を使つてゐることと、近年は七十才まで生きることが稀ではなくなつてゐることだが、『希』になつてゐるのは、これから先の人生を元気に生きていこうという希望を感じさせるから、ということが付け加えられていた。いづどこ

のだれが考えたのかわからないけど、なるほどなあとなつて納得した。

では、令和元年度で七十才以上の日本人が何人ゐるのか。男一一三〇万七千人、女一五七〇万八千人、合計で二六〇〇万人以上もゐる。およそ人口の四分の一は七十才以上だ。

コロナワクチンの接種を希望しているが、これだけの人口がいて高齢者順にくるのであれば、ペエペエの七十才ではなかなか順番が回つてこないのも無理はないなどと思ひながら、「稀」を「希」にしてくれた人の期待にこたへるべく、これから希望を持つて生きるにはどうしたらいいかを考えてみた。

何を置いてもやつぱり健康でなければならぬ。ゴルフの連チャンが厳しくなり、鮎やアマゴ釣りで岩場の上下りも安定しなくなつてゐる。年々体力が落ちてゐるのは間違いない。睡眠の質も悪くなつて、夜中に何度も目が覚める。それに伴つて免疫力が落ちてゐることも明白である。そうなると、「怪我」や「病氣」からの回避をどうするかが課題となつてくる。

身体健康と共に心の健康も大事である。日々の生活でストレスを貯めることは、希望を持つて生きることとはつながらない。現役で仕事をしていた時に比べると責任という重

圧は減つたものの、今でも町や県の役職をいただいて、それなりに動き回つてゐるので、多少ストレスを感じる時もある。

これらのリスクから逃れるためにやつてゐることがある。

一つ目は、毎日の五キロ歩行だ。夕食後、川風や海風を頼に感じながら家の周りを歩いてゐると、とても気持ちが良い。

二つ目は、風呂でのストレッチと手足の末梢神経刺激だ。肩こりがなくなり、手や顔の肌がツルツルしてきた。

三つ目は、同級生との滝巡りだ。紀伊半島には大小三千の滝があると

言われているが、様々な情報を手に入れて、月に一回から二回のペースで三重・奈良・和歌山の滝を回つてゐる。時には険しい場所もあるので、自分の体力の判定に役立ち、滝の前に立つてマイナスイオンを一杯浴びるので、心身のリフレッシュができる。

これからの目標を見つけることも、必要になつてくる。

だいたいこの年代になつてくると、孫の成長を自分の目標と重ねることが多いのではないかと思うが、娘も息子もいい年になつてゐるのに今だに独身で、孫の顔を見ることなど到底期待できない。

他から与えられる目標がないので、自分で目標を作つてみた。七十七才でエイジシユート(ゴルフで自分の年齢以下のスコアでプレーすること)をすることだ。今までの最高スコアが七十八なので、技術・体力・精神力を維持しながら、もうちょっと頑張つてみようと思う。

もう一つの目標は、高速道路が全て繋がれば、友人達と車を並べて紀伊半島を一周することだ。次回の免許更新は、高齢者講習を受講してからとなつてゐるので、自分で運転する期間もそう長くはないだろう。早く江住から熊野までの高速道路が完成して欲しいなあ。

アメリカで長年にわたつて、『友達が多い人と少ない人では、どちらが長生きするか』という調査がされたそう。その結果は、もちろん『友達が多い人』だった。

ギリシャの哲学者アリストテレスは、『人間は社会的動物である』と言つたが、人と人との交流を通じて、様々な刺激を身体に受けることで、人間の寿命も伸びていくのだと思う。

これからも『人債』をもつともつと作つて、『古希』にふさわしい人生を過ごしていきたい。

森 博司

令和3年度串本町小中学生ポップコンクール作品募集

■主 催 串本町教育委員会、串本町子ども会連絡協議会

■主 管 串本町図書館

■応募期間 7月19日（月）から8月19日（木）まで

■応募資格 町内在住もしくは町内の小中学校に在籍している小学4年生から中学3年生まで

■入 賞 小学生の部・中学生の部

各部門最優秀賞1点、優秀賞6点を予定

■応募方法 応募票記載のうえ教育課、図書館、学校へ提出

■ポップ規格

①大 き さ 官製はがきサイズを(10cm×14.8cm)基本とし、最小(9cm×14cm)、最大(10.7cm×15.4cm)。

②作品材質 官製はがき、または同程度の厚みのある紙

③応募点数 1人につき1点

④紹 介 文 ・ 字数制限はありません。(本のタイトル、著者名は必ず記載)
・ 未発表のオリジナル作品で、手書きのものに限ります。
・ 表紙のイラストなど、著作権を侵害するような既存作品・キャラクターの使用はできません。
・ 本の中身や帯、インターネット等で公開されている紹介文をそのまま写した文章等の使用はできません。

■お問い合わせ 串本町図書館（Tel.62-4653）教育課社会教育グループ（Tel.62-0006）

昨年度最優秀賞作品



【小学生の部】



【中学生の部】

教育課よりお知らせ

令和4年

成人式 実行委員の募集



令和4年成人式の司会・受付等を行う実行委員を募集しています。希望される方は教育課社会教育グループまでお申し込みください。

対 象 者

平成13年4月2日から平成14年4月1日の間に生まれた方で、町内在住、当町出身者としてします。

申込締切日

令和3年8月18日（水）



第17回

盆野球大会

主 催 串本軟式野球クラブ協会
後 援 串本町教育委員会・串本町体育協会
期 日 8月15日（日）
場 所 総合運動公園野球場ほか
申 込 先 教育課社会教育グループ
Tel.62-0006

申込締切 8月5日（木）午後5時まで
抽 選 8月5日（木）午後7時より
串本町文化センターにて

参 加 費 2,000円

参加資格

- ・ 町内在住者、勤務者及び出身者
- ・ 串本軟式野球クラブに加盟されている方
- ・ 小中学、高校生の出場は認めない但し定時制高校生の出場は認める。
- ・ 大学（軟式、硬式等）、社会人野球に籍を置く者の出場は認めない。
- ・ 二重登録は認めない。

そ の 他

- ・ 新型コロナウイルスの感染状況により急遽中止する場合があります。
- ・ 出場チームは、主催者が定める感染症対策を必ず行ってください。

